



つばさ

多摩市立聖ヶ丘小学校
特別支援教室 つばさ
令和7年 8月 26日
つばさだより 第6号

暑かった夏休み！長かった？短かった？今年の夏休みはどうだった？

夏休みが終わりました。大人時間でみると、8月もニュースに象徴されるお盆休みの出来事や休日が消化されていく流れをカレンダーで確認して「8月も過ぎていくか…」という感じかもしれません。子供時間での夏休みはどうでしょう。以前も紹介したフランスの学者ポール・ジャネの子供時間の論理（「ジャナーの法則（生涯のある時期における時間の心理的長さは年齢に反比例すると主張されるもの）※出典・ウイキペディア」具体的には、30歳の大人にとっての1年間は、30分の1で人生の3%弱であるのに対し、5歳の子供にとっての1年間は、人生の5分の1であり、人生の20%を占めているということだそうです。つまり、5歳の子供の体感時間は大人の6倍以上の長さになるというのです。これを前提に考えると、10歳前後の子供が過ごす夏休みという期間のなんと長いことでしょう！このように考えると「夏休み」はかなり長い夏の記憶だったのではないかと想像します。

そのため、夏休みの時間感覚から学校生活モードに切り替えていくには大人も含め個々の「差」が出てくることも予想されますね。（気持ちの浮き沈みや日々の疲れも含めて）休み明け、まずは、子供たちとそんな「夏休み時間」の会話を通して咀嚼して整理したり、気持ちを言葉で表出したりしながら気持ちを切り替えていければと思います。また、再開する学校生活へのモチベーションを維持していくきっかけとして、次の「楽しみ」も見つけて行くことも同時にしながら学校生活へのリズムをつくっていきたいと思います。今学期もよろしくお願ひします。

学校生活のスタートにあたり、何か気になることなどありましたらお気軽につばさ教室までご相談ください。

「自分を前に進める言葉・切り替える言葉・勇気をくれる言葉」

つばさ教室の廊下壁にはマンガやアニメ、歌などの名セリフや歌詞を短冊にして張り出しています。学校には保健、道徳面いろいろな標語もあるのですが、日々いろんな思いを抱いて生活する子供たちの学校以外の身近な場面からも名言を切り抜いて（時には選んでもらって）何となくでも眺めることで少しでも前向きになれる。気持ちを切り替える。そんなきっかけにもなってくれたらと思います。以下、そのいくつかを紹介します。

- ・「最後まで…希望をすてちゃいかん。あきらめたらそこで試合終了だよ。」スラムダンクより
 - ・「本気の失敗には価値がある！」宇宙兄弟より
 - ・「いちばんいけないのは じぶんなんかだめだと 思いこむことだよ！」ドラえもんより
 - ・「生きていくんだ それでいいんだ みんなここにいる愛はどこにもいかない。」玉置浩二・田園より
- 低学年の子にはまだ難しい内容にもなりますが、マンガやアニメの「前向き」な歌や言葉には、よくわからない「力」があることもあります。ともすれば情報過多の社会で「ネガティブ」な言葉や感情表出に接することもあるかもしれません。「ポジティブ」な言葉を意識できるようにしていくと気持ちも前を向きやすくなる。物事の考え方、捉え方、プラスしていくことで自分の生活も明るいものになる。今後も前向きな気持ちの作り方にもそれとなく意識を向けていくことを発信していきます。

お知らせ

前期後半の指導は9月8日（月）からとなります。よろしくお願ひします。

～かがやき文庫絵本紹介・再掲～

「カラーmonster・きもちはなにいろ？」

作 アナ・レナス 訳 おおとも たけし

「うれしい」「かなしい」「いかり」「ふあん」「おだやか」いろいろな気持ちがあるけど、ごちゃごちゃしてしまうこともある。そんなときはどうすればいい？色付きのmonsterと一緒に気持ちを色分けして整理していくと。monsterの視覚や色彩を使って気持ちが整理できていく一冊です。個別や小集団の指導での読み聞かせで使う中でも、自分が感じている「気持ち」に対してのイメージが湧きやすくなった一冊でした。

